

令和3年度



園だより



文京区立根津幼稚園

相手を思って動くこと

副園長 野本 和美

幼稚園の花壇のチューリップの芽が顔を覗かせ、ふとした瞬間に風の暖かさを感じる日々、一歩ずつ春の訪れが近付いているなと感じます。この時期、幼稚園では5歳児から4歳児への様々な引継ぎが始まり、飼育当番、お休み調べなど、順々に進めています。

先日、誕生会の司会の引継ぎを行いました。最初に、担任が司会を教える話を始めると、5歳児のA児が「引き継ぐんだよね」と言うので「引き継ぐって意味は分かる？」と返すと、B児が「世代交代ってこと」と言いました。なるほど言い得ています。5歳児がどのように世代交代していくのか、興味津々で見えていきました。まず司会の言葉が7つあるので、7グループに分かれます。5歳児は、何の言葉を使うのか紙を見せながら知らせ、自分たちが言葉を使う姿を見せた後、4歳児にも実際に言ってもらいながら言葉を伝えます。司会の言葉が分かると、次は動き方のレクチャーです。自分たちが動いて見せながら教えるグループ、動きをすべて言葉にして教えるグループと様々ありますが、どのグループにも共通していたのが、自分たちより小さい組の子にどうしたら伝わるかを考えて動いていたことです。ピアノの音を口ずさみながら「この音が鳴ったら前に出て。チャンチャン♪という音の後に積み木の上に立つよ」「言葉の後に、僕たちみたいに園長先生がいる方を向いてお辞儀をするよ」「手は横でピッと立ってね。降りるときは後ろから」と具体的に動きを知らせたり分かりやすい言い方をしたり、それぞれで工夫していて、5歳児がとても頼もしく見えました。

そして、教えること以上に嬉しかったのは「もし分からなくなったら、私たちを見ればいから。大丈夫だよ」と優しく声を掛ける姿があったことです。相手の気持ちを思っての一言がさらっと出たことに、5歳児の心の成長を感じました。5歳児の優しさに触れた4歳児は、きっと次は3歳児に伝えていくのだと思います。今後の4歳児、3歳児の姿を見ていくことが楽しみで仕方ありません。



この1年間、子どもたちは心も身体も大きく成長しました。そのパワーを次へと繋げ、さらに成長していくのだと思います。その姿を教職員全員で見守り、応援していきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、根津幼稚園の教育を温かく見守っていただき、教育にご理解、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。